
1日目 経済学から見た「簿記論」

P1

- 【問題1】(1) りじゅん (2) きょうきゅうきょくせん (3) ぜんていじょうけん (4) おもわく
【問題2】(1) 簿記 (2) 純利益 (3) 会計公準 (4) 需要 (5) 領収証 (6) 確定申告
【問題3】(1) 労働(の)供給曲線 (2) ある程度まで働いたら、お金よりも休みが欲しくなる
【問題4】(1) 収益－費用＝純利益 (2) 経済学では人間の欲望や思惑などが含まれるのに対し、簿記ではレシートや領収証などの'証拠'がある数字しか計算に入れてはいけないから

P3

- 【問題5】(ア) 経営活動 (イ) 帳簿 (ウ) 記録 (エ) 計算 (オ) 整理
【問題6】①個人的なハナシは別会計である ②1年とか半年とかに区切ること ③お金で表されるハナシだけを扱うこと
【問題7】「日付」は会計期間を考える上で重要であるが、曜日や天気は必要ないから。また、曜日や天気は計算する対象でもないから。
【問題8】(1) A (2) 損益分岐点 (3) 経済の世界では人間の欲望や思惑も含めて考えるから

2日目 工業簿記概論

P5

- 【問題1】(1) じっせんきはん (2) かんこう (3) こうせいだとう (4) しんぎかい
【問題2】(1) 原価計算基準 (2) 個別原価計算 (3) 総合原価計算 (4) 高度経済成長
(5) 経済白書 (6) 会計法規集
【問題3】(ア) 個別 (イ) 総合 (ウ) 材料 (エ) 人件費 (オ) 共通費のワリカン (カ) 工程別
(キ) 組別 (ク) 等級別 (ケ) 標準 (コ) 直接
【問題4】「1ついくらで作れたか？」を計算すること
【問題5】仮に1億個を作っていたら、1円間違えただけでも1億円の間違いになるから

P7

- 【問題6】(上から順に) 組別総合原価計算 部門別個別原価計算 単純総合原価計算 工程別総合原価計算
単純個別原価計算 等級別総合原価計算 【問題7】(1) 標準 (2) 直接
【問題8】(1) 単純個別原価計算 (2) 組別総合原価計算 (3) 直接原価計算

P9

- 【問題9】(1) 原価計算基準 (2) 原価計算基準は、ルールブックとして活用してもらえるように、今まで実務の世界で言い伝えられてきたいろいろなやり方のうち、「フツーに考えたら正しいはず」と思えることだけを抜き取って作成されたものである。ベンキョーの世界では、原価とは、お店や会社をやっている場合の'売り物'を作るために使っている材料や人件費などを金額で表したものである。経営の活動は、何らかの価値のあるモノを①消費して→②作って→③販売して…というサイクルである。原価は、経営においてお客さんに買ってもらうモノの値段に含まれるものであり、お客さんに売ることと関連づけて考えるものである。

3日目 個別原価計算の特徴

P11

- 【問題1】(1) はいふ (2) くみかんせつひ (3) あんぶん (4) ちょっか
【問題2】(1) 受注生産 (2) 製造間接費 (3) 配賦基準 (4) 人件費 (5) 金額法 (6) 活動基準

P12

【問題3】(1) A君1,000円 B君1,500円 C君1,000円 D君2,000円 (2) A君440円 B君1,100円
C君1,540円 D君2,420円 (3) A君730円 B君2,360円 C君510円 D君1,900円 (4) A君230円
B君690円 C君1,600円 D君2,980円

P14

【問題4】(1) 1,400円/時間 (2) 500円/時間 (3) 75% (4) 15%

P15

【問題5】(1)

10,000	15,000	12,000	37,000
25,000	30,000	28,000	83,000
12,500	15,000	14,000	41,500
47,500	60,000	54,000	161,500

(2)

10,000	15,000	12,000	37,000
25,000	30,000	28,000	83,000
30,000	36,000	33,600	99,600
65,000	81,000	73,600	219,600

(3)

10,000	15,000	12,000	37,000
25,000	30,000	28,000	83,000
35,000	42,500	40,000	117,500
70,000	87,500	80,000	237,500

(4)

20,000	10,000	20,000	50,000
20,000	50,000	80,000	150,000
12,000	30,000	48,000	90,000
52,000	90,000	148,000	290,000

4日目 部門別個別原価計算

P17

【問題1】(1) なんばーじゅう (2) ぶもんひはいふひょう (3) じゅんすいそうごはいふほう
(4) かいていしきはいふほう

【問題2】(1) 部門別 (2) 直接配賦法 (3) 相互配賦法 (4) 原価計算表 (5) 自部門
(6) 簡便法

P18

【問題3】(1)

200,000	150,000	35,000	20,000	10,000
20,000	15,000			
10,000	10,000			
5,000	5,000			
235,000	180,000			

(2) 第1製造部門費配賦率=20円/時間 第2製造部門費配賦率=12%

(3) 35円/時間

P19

【問題4】(1)

500,000	450,000	120,000	100,000	250,000
56,000	64,000			
52,941	47,059			
134,615	115,385			
743,556	676,444			

(2) 第1製造部門費配賦率=62円/時間 第2製造部門費配賦率=45.1%

(3) 118円/時間

(4)

500,000	450,000	120,000	100,000	250,000
46,667	53,333	—	6,667	13,333
45,000	40,000	10,000	—	5,000
97,222	83,333	27,778	41,667	—
188,889	176,666	37,778	48,334	18,333
17,630	20,148			
25,589	22,745			
9,872	8,461			
53,091	51,354			
741,980	678,020			

P21

【問題5】(1)

750,000	800,000	340,000	280,000	400,000
212,500	127,500			
131,765	148,235			
228,571	171,429			
1,322,836	1,247,164			

(2) 第1製造部門費配賦率=110円/時間 第2製造部門費配賦率=83.1%

(3) 214円/時間

(4)

750,000	800,000	340,000	280,000	400,000
188,889	113,333	—	18,889	18,889
112,000	126,000	42,000	—	—
188,235	141,176	23,529	47,060	—
489,124	380,509	65,529	65,949	18,889
40,956	24,573			
31,035	34,914			
10,794	8,095			
82,785	67,582			
1,321,909	1,248,091			

5日目 総合原価計算の特徴

P23

【問題1】(1) げつまつしかかりひん (2) たなおろしけいさんほう (3) あといれさきだしほう

(4) かこうしんちよくと

【問題2】(1) 継続記録法 (2) 先入先出法 (3) 移動平均法 (4) 総平均法 (5) 度外視法

(6) 非度外視法

【問題3】(1) 140 (2) 475 (3) 865 (4) 920

P25

【問題4】(1) 4,500円 (2) 36,800円

p27

【問題5】(1) 12,800円 (2) 12,150円

【問題6】(1) 12,400円 (2) 12,750円

【問題7】大量生産をしていると、完成品の数は多すぎて数えることが出来ないから。

【問題8】棚卸計算法では、継続記録法のように出入りを記録せずに逆算して求めるため、本当に使ったのか？紛失したのか？の区別がつかないのが欠点である。

【問題9】(上から順に) 先入先出法 月末頃の単価 移動平均法 総平均法

6日目 工程別総合原価計算

P29

【問題1】(1) まえこうていひ (2) ひるいかほう (3) さぎょうくず (4) じこうていふりかえだか

【問題2】(1) 半製品 (2) 副産物 (3) 累加法 (4) 段階的 (5) 資産価値 (6) 最終工程

【問題3】(1) 1,072,428 (2) 5,172,850

P31

【問題4】(1) 103,400 (2) 95,650 (3) 156,800 (4) 125,080 (5) 208,500 (6) 475,600 @59.5

7日目 組別・等級別総合原価計算

P35

【問題1】(1) かんさん (2) あんぶんげんか (3) せきすう (4) しそんじ

【問題2】(1) 組間接費 (2) 等級別 (3) 等価係数 (4) 加工進捗度 (5) 減損 (6) 簡便法

【問題3】(1)

600,000	550,000	1,150,000
1,620,000	1,800,000	3,420,000
630,000	700,000	1,330,000
2,850,000	3,050,000	5,900,000

P37

(2)	480,000	420,000	900,000	(3)	450,000	350,000	800,000
	2,400,000	2,000,000	4,400,000		1,040,000	1,120,000	2,160,000
	1,920,000	1,600,000	3,520,000		360,000	280,000	640,000
	4,800,000	4,020,000	8,820,000		1,850,000	1,750,000	3,600,000

【問題4】(1)

1.0	800	800	760,000	950
0.7	800	560	532,000	665
0.4	400	160	152,000	380
		1,520	1,444,000	

P39

(2)

5	300	1,500	525,000	1,750
2	500	1,000	350,000	700
1	900	900	315,000	350
		3,400	1,190,000	

(3)	5	150	750	450,000	3,000
	3	350	1,050	630,000	1,800
	1	700	700	420,000	600
			2,500	1,500,000	

(4)	1	200	200	144,000	720
	0.7	450	315	226,800	504
	0.4	800	320	230,400	288
			835	601,200	

P40

【問題5】(1) 甲品 3,000円 乙品 2,000円 丙品 1,000円

8日目 標準原価計算

P41

【問題1】(1) かりかたさい (2) かしかたさい (3) ひょうじゅんげんか (4) げんかひょうじゅん

【問題2】(1) 原価管理 (2) 不利差異 (3) 有利差異 (4) 実際原価 (5) 価格差異 (6) 数量差異

【問題3】(1) 価格差異 10,000円(不利) 数量差異 12,000円(有利)

P43

【問題4】(1) 賃率差異 10,000円(不利) 作業時間差異 12,000円(有利)

【問題5】(1) 2,000円(有利) (2) 10,000円(不利)

【問題6】(1) 予算差異 66,250円(不利) 能率差異 8,500円(不利) 操業度差異 4,250円(不利)
 (2) 予算差異 10,000円(有利) 能率差異 17,500円(不利) 操業度差異 52,500円(不利)

9日目 直接原価計算

P47

【問題1】(1) こへんぶんかい (2) さいしょうじじょうほう (3) かいきぶんせきほう (4) さんぷず

【問題2】(1) 費目別精査法 (2) 高低点法 (3) 変動費率 (4) 全部原価計算 (5) 固定費調整
 (6) 外部報告用

【問題3】(1) 変動費率 900円 月間固定費 3,000,000円 (2) 変動費率 910円 月間固定費 2,967,500円
 (3) 変動費率 905円 月間固定費 2,981,500円

P49

【問題4】(1) 全部原価計算方式

売上高	3,655,000
売上原価	984,700
売上総利益	<u>2,670,300</u>
販売費及び一般管理費	395,000
営業利益	<u><u>2,275,300</u></u>

直接原価計算方式

売上高	3,655,000
変動売上原価	946,000
変動製造マージン	2,709,000
変動販売費	215,000
限界利益(貢献利益)	<u>2,494,000</u>
固定費	
固定製造原価	45,000
固定販売費 及び一般管理費	180,000
営業利益	<u><u>2,269,000</u></u>

P50

(2) **全部原価計算方式**

売上高	3,950,000
売上原価	<u>1,657,025</u>
売上総利益	2,292,975
販売費及び一般管理費	<u>576,500</u>
営業利益	<u><u>1,716,475</u></u>

直接原価計算方式

売上高	3,950,000
変動売上原価	<u>1,580,000</u>
変動製造マージン	2,370,000
変動販売費	<u>276,500</u>
限界利益(貢献利益)	2,093,500
固定費	
固定製造原価	78,000
固定販売費 及び一般管理費	<u>300,000</u>
営業利益	<u><u>1,715,500</u></u>

P51

【問題5】(1) 全部原価計算 2,000円 (2) 全部原価計算 4,000円 (3) 全部原価計算 8,000円

10日目 CVP分析

P53

【問題1】(1) しーぶいびーぶんせき (2) こすと (3) ぼりゆーむ (4) ぷろふいっと

【問題2】(1) 損益分岐点 (2) 安全余裕率 (3) 限界利益 (4) 貢献利益 (5) 分岐点比率 (6) 利益計画

【問題3】(1) 1,907 (2) 443

P55

【問題4】(1) 損益分岐点比率 76.3% 安全余裕率 23.7% (2) 損益分岐点比率 73.7% 安全余裕率 26.3% (3) 損益分岐点比率 62.7% 安全余裕率 37.3% (4) 損益分岐点比率 22.0% 安全余裕率 78.0%

P57

【問題5】(1) 60円 (2) 145,000円 (3) 60,000円 (4) 12,000円 (5) 80,000円 減少

11日目 活動基準原価計算

P59

【問題1】(1) 活動 (2) 経営資源 (3) 活動基準原価計算 (4) 活動基準マネジメント (5) 活動基準予算

【問題2】(1) 経営資源 (2) 活動基準 (3) 高度経済 (4) 多品種 (5) 付加価値

【問題3】C→B→D→A

【問題4】(1) ①高品質 ②低コスト ③短納期 (2) トレード・オフ

P61

【問題5】多品種 少量 (品質が)高いこと (納期が)早いこと (コストが)低いこと

【問題6】(1) 950.01円/時間 (2) 発注受入活動@432.34 組立活動@279.26 検査活動@16,211.34 出荷活動@3,895.89 工場管理活動@322.95 (3) ①する場合 1,219,506円 しない場合 1,008,911円 (4) ①する場合 1,569,726円 ②しない場合 1,368,964円

P63

【問題7】機械作業＝機械運転時間 段取作業＝段取り時間 生産技術＝仕様書作成時間 材料倉庫＝直接材料 出庫金額 品質維持＝検査回数 荷造出荷＝出荷回数 管理活動＝直接作業時間

P63

【問題8】(1)

コスト・プール	コスト・ドライバー	コスト発生額	ドライバー発生数	単位あたりコスト
打ち合わせ	総通話時間	196,812円	18,734分	@11円/分
配達・回収	配達距離	2,014,275円	9,762km	@206円/km
食器保管洗浄	食器アイテム数	8,273,400円	108,523個	@76円/個
店舗維持管理	年間受注件数	5,761,793円	771件	@7,473円/件
合計		16,246,280円		

(2) 23,353円 (3) 25,768円 (4) 19,049円

12日目 統計学と簿記

P65

【問題1】(1) 145,957円 (2) 469人

【問題2】(1) 変動費率 450円/h 固定製造間接費 300,275円

(2)

	x	y	x ²	x y
4月	985	743,525	970,225	732,372,125
5月	820	668,450	672,400	548,129,000
6月	813	666,125	660,969	541,559,625
7月	894	712,320	799,236	636,814,080
8月	927	725,805	859,329	672,821,235
9月	868	692,340	753,424	600,951,120
合計	5,307	4,208,565	4,715,583	3,732,647,185

$$6 \quad b + \quad 5,307 \quad a = \quad 4,208,565$$

$$5,307 \quad b + \quad 4,715,583 \quad a = \quad 3,732,647,185$$

P67

【問題3】変動費率 140円/h 固定製造間接費 2,760円/月

	x	y	x ²	x y
1月	28	6,710	784	187,880
2月	38	8,090	1,444	307,420
3月	35	7,580	1,225	265,300
4月	29	6,820	841	197,780
5月	41	8,530	1,681	349,730
合計	171	37,730	5,975	1,308,110

$$\begin{cases} 5b + 171a = 37,730 \\ 171b + 5,975a = 1,308,110 \end{cases}$$

【問題4】 変動費率 154円 固定製造間接費 2,319円/月

	x	y	x^2	$x \cdot y$
3月	23	5,860	529	134,780
4月	21	5,490	441	115,290
5月	18	5,120	324	92,160
6月	20	5,440	400	108,800
7月	22	5,710	484	125,620
8月	21	5,600	441	117,600
9月	19	5,180	361	98,420
合計	144	38,400	2,980	792,670

$$\begin{cases} 7b + 144a = 38,400 \\ 144b + 2,980a = 792,670 \end{cases}$$

【問題5】(1) $y = \boxed{6,786}x + \boxed{116,921}$

(2)

	休日数	生活費	高低点法の金額	誤差
4月	9日	187,531円	177,995円	9,536
5月	11日	191,567円	191,567円	0
6月	3日	133,746円	137,279円	3,533
7月	2日	130,493円	130,493円	0
8月	5日	152,824円	150,851円	1,973
9月	4日	147,355円	144,065円	3,290
				18,332

(3) ①変動費率 7,329円 ②月間固定費 115,720円

(4)

	休日数	生活費	高低点法の金額	誤差
4月	9日	187,531円	181,681円	5,850
5月	11日	191,567円	196,339円	4,772
6月	3日	133,746円	137,707円	3,961
7月	2日	130,493円	130,378円	115
8月	5日	152,824円	152,365円	459
9月	4日	147,355円	145,036円	2,319
				17,476

(5) 高低点法では、最高値と最低値のデータしか使っていないから

P71

【問題 1】

(1)

xの値	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
yの値	9	4	1	0	1	4	9	16	25

傾きは $2x$ 微分したら $2x$

(2)

xの値	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
yの値	-27	-8	-1	0	1	8	27	64	125

傾きは $3x^2$ 微分したら $3x^2$

(3)

xの値	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
yの値	10	5	2	1	2	5	10	17	26

傾きは $2x$ 微分したら $2x$

(4)

xの値	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
yの値	28	13	4	1	4	13	28	49	76

傾きは $6x$ 微分したら $6x$

- 【問題 2】 (1) $y' = 6x^2 + 2x + 5$ (2) $y' = 9x^2 - 4x + 4$
 (3) $y' = 16x^3 - 6x + 2$ (4) $y' = 8x^3 + 3x^2 - 2x + 3$

P74

【問題 3】 ①プラス ②マイナス ③ゼロ

【問題 4】 発注費 正比例 保管費 反比例 経済的発注量

P75

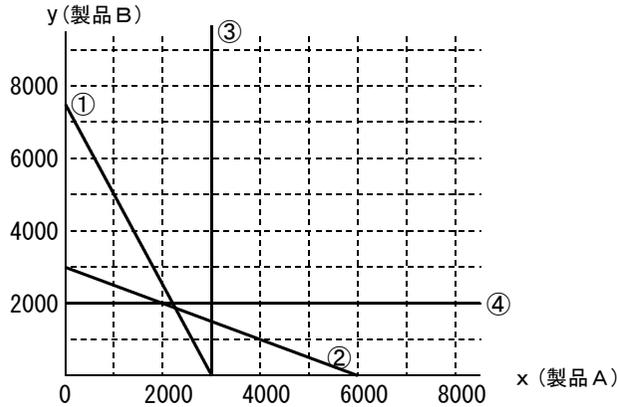
- 【問題 5】 (1) 900 (2) 460 【問題 6】 (1) 447 (2) 4472 (3) 141

P78

- 【問題 1】 (1) $\begin{cases} y = 2000x \\ y = 800x + 200x + 50000 + 30000 \end{cases}$
 損益分岐点売上高 160,000円 損益分岐点売上数量 80個
 (2) $\begin{cases} y = 2000x \\ y = 1500x + 300x + 70000 + 30000 \end{cases}$
 損益分岐点売上高 1,000,000円 損益分岐点売上数量 500個

P80

- 【問題 2】 (1) $0.5x + 0.2y \leq 1500 \cdots \text{①式}$ $0.3x + 0.6y \leq 1800 \cdots \text{②式}$
 $x \leq 3000 \cdots \text{③式}$ $y \leq 2000 \cdots \text{④式}$



【問題 3】 (1) $x = 2000$ $y = 3000$ (2) ● A $\cdots x = 200$ $y = 4800$ ● B $\cdots x = 2500$ $y = 1500$

15日目 実力テスト

P83

- 【問題 1】 ①標準原価計算 ②単純総合原価計算 ③工程別総合原価計算 ④部門別個別原価計算
 ⑤単純個別原価計算 ⑥直接原価計算 ⑦等級別総合原価計算 ⑧工程別総合原価計算 ⑨活動基準原価計算
 ⑩標準原価計算
- 【問題 2】 ① (解答例) 「各人が降りたときの料金メーターがいくらだったか?の割合で決める」「手持ちのお金が多い人ほどたくさん払う」「家に着くまでの乗車時間の割合で決める」など
 ②数字 ③ (解答例) 原価に占める間接費 (= 共通費) の割合が大きくなると、原価の大部分が按分計算 (= ワリカン) で決まるので、正確な原価を知るのがますます難しくなる。
- 【問題 3】 ①補助部門は他部門のために存在しているから ②棚卸計算法 ③ (解答例) 半製品 \cdots ボールペンの替芯 副産物 \cdots 天ぷらやさんの天かす ④等価係数

『大学で学ぶ工業簿記ワークブック』 解答

2013年4月5日発行

(最終更新日 2014年4月16日)

この解答の最新版は、シマダ簿記教室のホームページで確認してください(*^_^*) ♪

<http://www.shimadaboki.com>

間違いを見つけられた方は、メールにてご一報くださるようお願い致しますm(_ _)m



shimadaboki@gmail.com